

2010年度

科目名	解剖学				
担当教員	田中 静吾、雪村 時人				
配当	薬科1		コード	13710	
開期	後期	講時	月曜日3限	単位数	
授業テーマ	【必修】 ヒトの成り立ち				
目的と概要	<p>先ず概論においてヒトの臓器の名称、形態および体内の位置と各臓器の役割分担について概説する。次いで臓器ごとに構造と機能を説明する。授業を通じて「人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。」ことを一般目標とする。 (日本薬学会モデルコアカリキュラム C8(1)「ヒトの成り立ち」に対応、一部 A(1)「生と死」に対応)</p>				
成績評価法	期末テスト(70%)およびレポートを含んだ平常点(30%)によって総合的に評価する				
テキスト	入門人体解剖学 藤田 恒夫 著 南江堂				
参考書					
履修に当たっての注意・助言	補助教員:山形 雅代				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	概論	1. ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。	C8(1)	知識
			2. ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。	C8(1)	知識
			3. ヒトの身体構造を理解することの意義と、生命の尊さについて説明できる。	A(1)	知識
2	講義	神経系I	1. 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。	C8(1)	知識
			2. 脳・脊髄の局所症状について説明できる。	独自	知識
3	講義	神経系II	体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。	C8(1)	知識
4	講義	神経系III	1. 自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。	C8(1)	知識
5	講義	骨格・筋肉・皮膚	1. 主な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。	C8(1)	知識
			2. 主な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。	C8(1)	知識
			3. 皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
6	講義	循環器系I	心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
7	講義	循環器系II	1. 血管系について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
			2. 胎児の循環系を説明できる。	独自	知識
8	講義	循環器系III、血液・造血器系	1. リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
			2. 骨髄、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
9	講義	呼吸器系	肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
10	講義	消化器系	1. 胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
			2. 肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
11	講義	泌尿器系	1. 腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
			2. ネフロン構造と機能を説明できる。	独自	知識
12	講義	生殖器系	精巣、卵巣、子宮などの生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
13	講義	内分泌系	1. 脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識
			2. 内分泌系臓器から分泌されるホルモンを列挙できる。	独自	知識
14	講義	感覚器系	1. 眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。	C8(1)	知識

			2. 視覚と聴覚の伝導路を説明できる。	C8(1)	知識
15	演習	総括とまとめ	人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得している。	独自	知識
授業方法					
一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C8(1) A(1)	講義または演習	講義室	2(1)	スライド、配布資料など	90×15回